

プラザちゅうたい それぞれの思い①

～プラザちゅうたいを知る人～

「プラザちゅうたい」をよく知り、現在は指導者、選手として活躍する大矢さんと、各スポーツの指導者、利用者に「プラザちゅうたい」やスポーツへの思いを聞いてみました。



大矢 せい子さん
(伊深町)

●「プラザちゅうたい」での活動歴は？

かつては職員としてスポーツの指導を行っていたこともありましたが、今は、健康体操、ソフトバレーボールの指導を行うほか、バレーボールは自ら選手としてプレーしています。

「プラザちゅうたい」とは完成してから今まで、30年のつきあいとなります。

●中濃体育館(現プラザちゅうたい)が完成した当時のことについて教えてください。

中濃体育館ができる前の室内スポーツの練習は、主に西総合体育館や小学校の体育館で行っていました。

昭和47年に中濃体育館ができると、卓球やバドミントン、バレーなど、室内スポーツの拠点となりました。また、当時

としては珍しい「サーキットトレーニング」の施設があったこともあり、市内のスポーツ人口が急激に増えたことを記憶しています。

●「プラザちゅうたい」で心に残る出来事は？

「プラザちゅうたい」は、大きなステージがある体育館のため、文化的行事を行うことも多く「歌謡ショー」や、プロレス、全日本バレーボール選手の「スポーツ教室」が開催されたこともあります。

「野口五郎ショー」を開催したときは、徹夜で入場を待つ人がいたことを覚えています。

そんな催しのなかで、一番心に残っているのは、「日本大相撲美濃加茂場所」です。

当時、大相撲は名古屋まで行かないと見ることができなかったため、中濃体育館で大相撲を開催したときは、市内外からたくさんの方が訪れ大反響でした。当時の横綱「北の富士」を目の前で見たとときの感激は、今でも忘れられませ



▲日本大相撲美濃加茂場所 (昭和47年8月2日)

●大矢さんにとって「プラザちゅうたい」とは？

私のスポーツ歴がここプラザちゅうたいにあるといってもよいくらいです。スポーツにこれほどかわれることができたのは「プラザちゅうたい」のおかげですね。

平成9年に「プラザちゅうたい」がリニューアルされました。床が板張りになり、けが防止のためのクッションを壁に備えるなど、スポーツをする上で、大変利用しやすくなりました。本当の意味で体育館(体育専用)になった感じがします。

私は今後も「プラザちゅうたい」に選手として、また、指導者として積極的にかかわり、一人でも多くの人に、スポーツの楽しさを知ってもらえるように活動していきます。



▲ソフトバレーの指導をする大矢さん